

「土砂災害防止」

高松市立古高松南小学校 4年 林 侑希さん

最近土砂災害などが県外で、起こっているニュースを聞いています。ゲリラごう雨や台風で地すべりやがけくずれが起こって、なくなっている人がたくさんいるというニュースがよくあります。そこでわたしは、この土砂災害のことを考えて、調べてみたいと思いました。

お父さんが高校一年生の時に、台風で吉田川の水がはんらんして家がゆか上しん水になり、朝早くから起きてたたみはずしたり、一階のに物を二階に運んだり、朝早くからとても大変だったと言っていました。水がひいた後は、高松市から毎日消どくに来てくれましたが、においやよごれがひどくてしばらく困ったそうです。

香川県は、災害が少ないため何か起きた時に対するじゅんびが十分とはいえません。お父さんがひ害にあったように香川県もいつ何が起こるか分からないので、心がまえをして安全にすごしていきたいと思います。そのためにはどうしたらよいかを實さいに起こった土砂災害を通して考えてみたいと思います。

一年前の平成二十六年八月二十日、広島県広島市で夜中にふった大雨によって土石りゅうが起こり、死者七十五人・負しゅう者四十四人という大変な災害があったとニュースで流れていました。大気が不安定だった十九日の夜の七時三十分ごろから雷が鳴りはじめ、八時ごろより雨がとても強くなったそうです。九時から十時までの一時間には四十一・五mmと言う、わたしが今まで見たことのないような強い雨がふったため広島市内では、てい電やひざ下まで道路が水であふれていたと言っていました。

この災害が起こった平成二十六年八月は、中国地方をふくめ四国・九しゅう北部・近きなど西日本の広いはんいで、月間こう水量が平年の二倍をこえる所があるほど雨がたくさんふりました。そのため地ばんがゆるみ、がけくずれや地すべりが起こって家の中に水が流れこんできたり、土石りゅうにより家がつぶされたりする災害が各地で起こりました。わたしが住んでいる香川県ではとくにひ害はありませんでしたが、たくさんの方がなくなると聞いてとても悲しくなりました。

香川県はどうして災害が少ないのかふしぎに思いお父さんに聞いてみました。すると、香川県は四国山地、さぬき山みゃくという山にかこまれているため雨雲ができにくいと言っていました。でも川が短いため上流部で強い雨がふると、川の水かさが一気にふえて災害が起こるかのうせいが高いそうです。

それを聞いてわたしは香川県に災害が少ないと思っていることが間ちがえていると気付きました。県外で起こっている土砂災害が香川県にも起こるかもしれないと思い、安心することなくすごすことが大切だと思いました。

予そくでは南海トラフ地しんが三十年い内に七十一パーセントのかくりつで来るとテレビのニュースで見ました。それに今年は台風も多く来ています。だから地すべりやがけくずれが起きやすい場所をかくにんしたり、災害が起きた時にどこにひなんすれば良いか調べておくことが大切だと思いました。